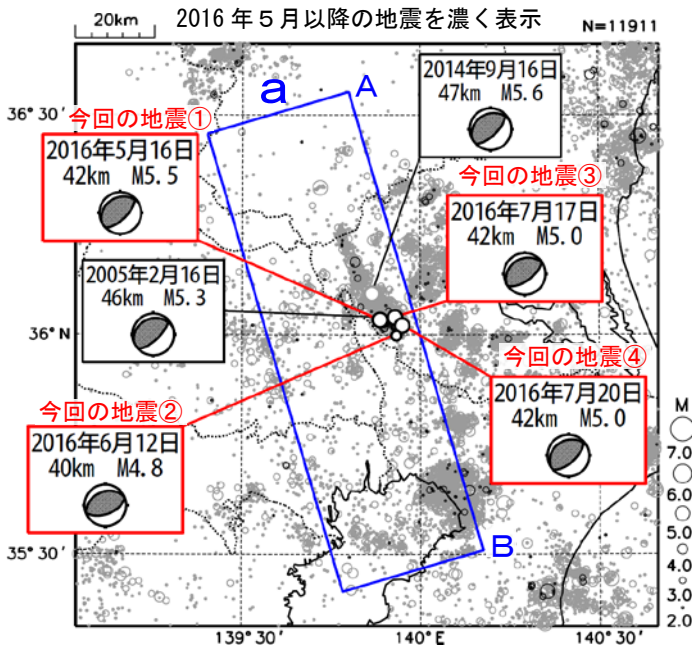


5月16日、6月12日、7月17日、7月20日 茨城県南部の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2016年7月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)

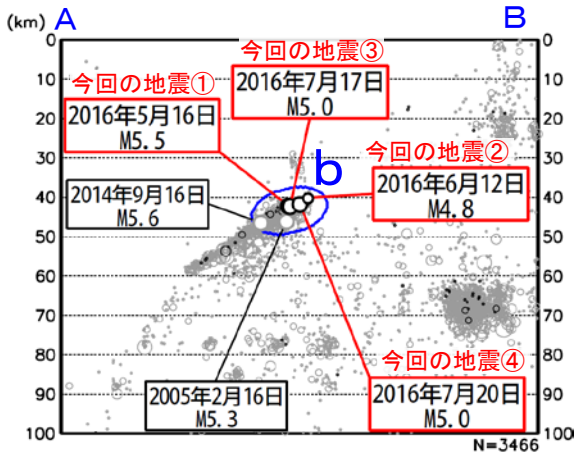


2016年5月16日21時23分に茨城県南部の深さ42kmでM5.5の地震（最大震度5弱、今回の地震①）が、6月12日07時54分に茨城県南部の深さ40kmでM4.8の地震（最大震度4、今回の地震②）が、7月17日13時24分（今回の地震③）と20日07時25分（今回の地震④）に、ともに茨城県南部の深さ42kmでM5.0の地震（最大震度4）が発生した。これらの地震は、発震機構が①、③、④の地震が北西-南東方向に、②の地震が北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、いずれもフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。①と④の地震の発生後にはややまとまった地震活動がみられた。

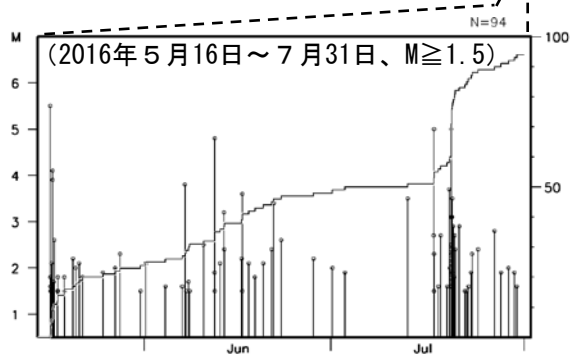
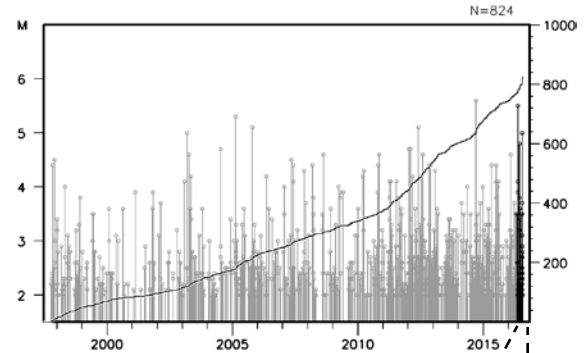
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）は、活動が活発な領域で、M5程度の地震がしばしば発生している。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6程度の地震が時々発生している。

領域a内の断面図（A-B投影）

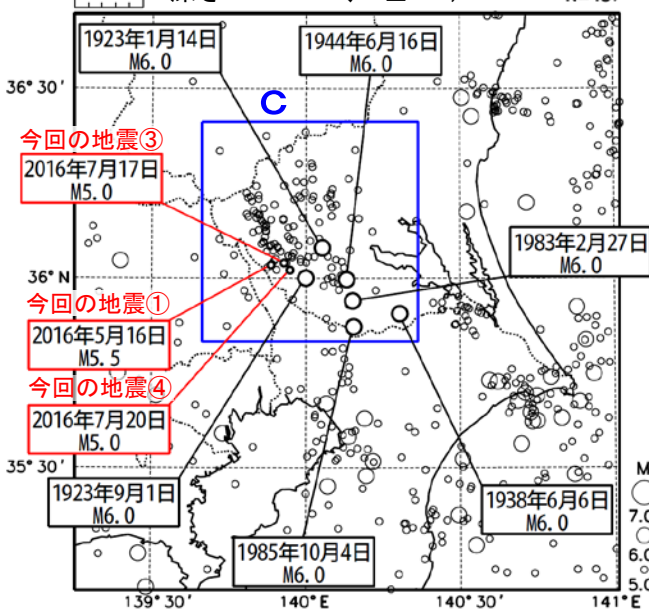


領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図

(1923年1月1日～2016年7月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)



領域c内のM-T図

